

細かな部品の袋詰め・溶着・袋への印字作業を一台で完結 自動袋詰め包装机「GTS-100」10月27日（月）より販売開始

TERAOKA 製カウンティングスケールとの連携で、
計数情報のダイレクト印字が可能に

株式会社寺岡精工（本社：東京都大田区/代表取締役社長 山本宏輔）は、計数した部品の袋詰めから溶着、袋への印字作業を一台で完結する、部品・製造業界向けの自動袋詰め包装机「GTS-100」を、10月27日（月）より販売開始します。

本製品は、部品を投入するだけで、袋詰め・袋の溶着、袋への現品票印字を自動で行います。従来手作業で行っていた袋詰め作業、シーラーでのシール作業、ラベルの発行・貼付作業の業務を自動化し、省人化・効率化が可能になります。設置面積約 40 x 90cm という省スペース性を活かし、作業机にも設置しやすい袋詰め業務の効率化に貢献します。



▲袋詰め包装机「GTS-100」



▲袋詰め後の商品（一例）

■ 部品を投入するだけで袋詰めが完了、袋の溶着まで自動化し作業効率化を実現

袋詰め包装机「GTS-100」は、自動車部品・樹脂成形品・電装品といった「部品」を扱う現場において、計数・小分け後の部品の袋詰め作業を自動化する機械です。

部品のデータを呼び出し、専用投入口から部品を投入すると、現品票情報を袋に直接印字し、内容量に合わせて袋を自動でカット、袋詰めします。袋はシーラーで圧着された状態で排出されるため、そのまま出荷することができます。

作業の簡略化で作業員の業務負担を軽減するとともに、15インチのカラータッチパネルを用いたシンプルな操作で利用できるため、作業員への複雑なレクチャーや教育も不要に。作業の属人化防止にも貢献します。



▲タッチパネル画面（一例）

■ カウンティングスケールとの連動で、計数情報をダイレクト印字

袋詰め包装機「GTS-100」を高性能カウンティングスケール「DC-450」と連動させることで、「DC-450」による計数情報を「GTS-100」に送信し、部品名や個数を袋にそのまま印字することが可能になります。

直接印字によって現品票ラベルの貼り付けが不要になるため、紙資源の節約にもつながります。



▲カウンティングスケール「DC-450」



▲袋への印字（一例）

■ 卓上に置ける省スペースサイズ、既存の作業場にそのまま配置

「GTS-100」は幅 40cm×奥行 90cm の省スペースサイズ。既存の作業場のレイアウトを極力変更せずに設置できます。100V 電源に接続できれば設置場所を問わないため、スペースの限られた現場にも配置しやすい製品です。

■ 製品概要

製品名：自動袋詰め包装機「GTS-100」

発売日：2025 年 10 月 27 日

外形寸法：383.8mm(W) x 824.3mm(D) x 625mm(H)

製品 URL：<https://www.teraokaseiko.com/jp/l/logistics/products/measuring/gts-100/>

【株式会社寺岡精工 会社概要】

■本社所在地：東京都大田区久が原 5-13-12

■創業：1925 年（寺岡式敏感自動バネ秤開発）

■代表者：代表取締役会長 寺岡和治、代表取締役社長 山本宏輔

■資本金：1 億円

■従業員数：連結 3,919 名（2024 年度）

■主な事業：流通小売、食品製造、ロジスティクス、飲食・専門店の 4 事業分野

およびサポートサービス、クラウドサービスにおける精密機器等の開発・製造・販売・保守

■国内営業・サービス拠点：約 130 拠点

■HP URL：<https://www.teraokaseiko.com/>



since 1925

掲載画像ダウンロード URL：<https://shurl.jp/3pIwe>（有効期間：10 月 21 日～11 月 20 日）

■ 本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

株式会社寺岡精工 グローバルマーケティングコミュニケーションズ 上山・鈴木

TEL: 03-3752-5510 FAX: 03-3752-5562 Mail: pr-teraoka@jp.digi-group.com

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社寺岡精工 お客様窓口 TEL: 0120-37-5270（平日 9:30-17:30）